

防災情報運用システムのご紹介

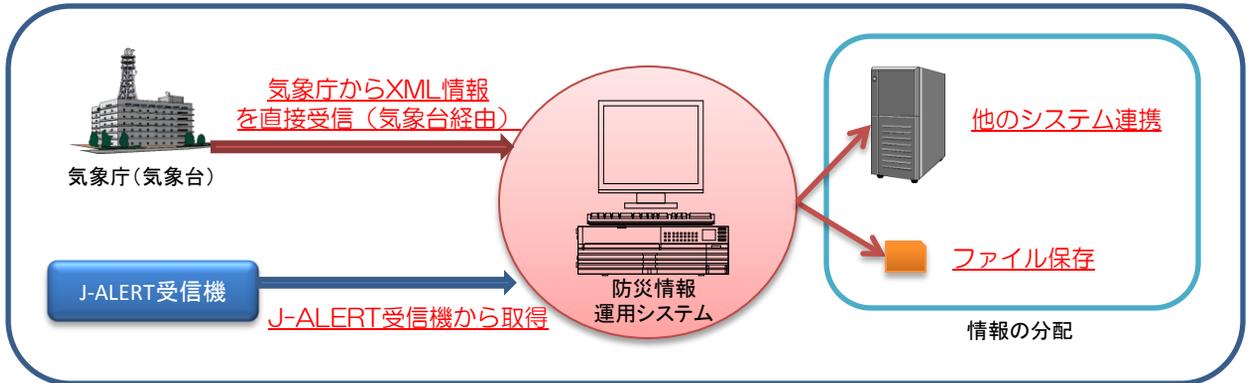
● 気象庁XMLフォーマットに対応したシステムです。

■ 地方気象台とのオンライン接続でXML情報の取得が可能です。

気象庁のオンライン接続仕様に即した通信(※1)により、気象台から直接情報取得が可能です。
(当社システムは平成22年3月、東京管区気象台での回線接続試験により合格済みです)。

■ 取得したXMLフォーマットの再活用が可能です。

気象庁のオンライン接続仕様と同様の接続形式で、他のシステムへの再配信が可能です。
また、年月日を含むファイル名フォーマットでのファイル保存が可能です。



※1 『気象情報伝送処理システム TCP/IP回線接続手順書1.1版』、『TCP/IPソケットを使用した接続手順仕様書1.11版』による

● 気象庁XMLフォーマットを利用した情報提供の拡張カスタマイズが可能です。

■ XMLフォーマットからFAX原稿を作成して市町村・出先機関などへの情報提供ができます。

FAXによる一斉通報などの拡張が可能です。XML情報から予め設定した様式で自動的にFAX原稿(TIFF形式)を作成できます。

■ 職員参集システムなどによりメール配信が可能です。

気象警報や土砂災害情報など、職員の非常参集が必要な情報が得られた場合、職員参集システムと連動して電話による通報やメール送信が可能です。

■ ご要望に応じて様々なカスタマイズを承ります。

受信したXMLを利用して、自治体様のご運用に沿うシステム構築をご支援いたします。

